



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

東・福

上場会社名 ポート株式会社

上場取引所

コード番号 7047

URL https://www.theport.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 春日 博文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 丸山 侑佑

(TEL) 03-5937-6466

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,082	10.7	291	△43.0	119	△72.8	137	△68.1	92	△68.4
2020年3月期第3四半期	2,785	35.0	512	52.5	440	35.4	431	37.0	292	12.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 92百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	8.25	8.00
2020年3月期第3四半期	25.81	24.63

※EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 当社は、2021年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第3四半期連結累計期間に代えて、2020年3月期第3四半期累計期間について記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,149	2,221	36.1
2020年3月期	3,962	2,116	53.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,216百万円 2020年3月期 2,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	△0.09	0	△100.00	△130	△118.57	△100	△114.11	△75	△119.59	△6.65
	~4,500	~9.66	~100	~△87.38	~0	~△100.00	~0	~△100.00	~0	~△100.00	~0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	11,696,720株	2020年3月期	11,642,220株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	457,100株	2020年3月期	457,100株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	11,194,236株	2020年3月期3Q	11,321,735株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、従来型の決算説明会に代えて、決算説明動画を当社ホームページ「株主・投資家情報」にて掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化しており、厳しい経済状況となっております。2020年4月に発出された緊急事態宣言解除後は、段階的に経済活動の再開がみられるものの、依然として終息の見通しがたっておらず、冬を迎えて再び感染が拡大していることから、今後も国内外の経済情勢に大きな影響を与えることが予想されます。

当社グループが属するインターネットメディア業界においては、モバイルにおける運用型広告、動画広告の成長が更に加速し、「インターネット広告費（媒体費＋制作費＋物販系ECプラットフォーム広告費）」は2兆1,048億円（前年比119.7%）と初めて2兆円を超え、6年連続で二桁成長となりました（株式会社電通発表「2019年日本の広告費」）。また、2020年においても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い在宅時間が増加していることから、インターネット広告の需要はさらに拡大していくと予想しております。

このような環境の中、当社グループにおいては、「世界中に、アタリマエとシアワセを。」というコーポレート・ミッションのもと、インターネットメディア事業を展開しております。

当社グループでは、キャリア系メディア「キャリアパーク!」、ファイナンス系メディア「マネット」等の主力メディアで培ったノウハウを活用した領域やジャンルの開発（横展開）、当該メディアにより獲得したユーザーの行動データを活用したリアルプロダクトやサービスの開発（縦展開）を積極的に推進しております。また、第2四半期連結会計期間においては株式会社ドアーズを完全子会社化し、「リフォーム領域」に参入するなど、M&Aを活用したさらなる事業成長にも取り組んでおります。

こうした施策の成果もあり、緊急事態宣言解除後の経済活動の再開に伴い経営成績は回復傾向で推移しており、当第3四半期連結累計期間では売上高は3,082百万円、営業利益は119百万円、経常利益は137百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は92百万円となりました。

なお、当社グループの事業セグメントはインターネットメディア事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,149百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が2,911百万円、売掛金が526百万円、のれんが2,152百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,928百万円となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が545百万円、未払金が632百万円、社債が600百万円、長期借入金が1,258百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,221百万円となりました。主な内訳は、資本金が825百万円、資本剰余金が766百万円、利益剰余金が1,024百万円、自己株式が△399百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2020年9月18日付「2021年3月期通期業績予想に関するお知らせ」で公表しました業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が2021年3月までに終息するとの予測のもと、現時点で入手可能な情報や予測等に基づきレンジ形式で算定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,911
売掛金	526
その他	175
貸倒引当金	△1
流動資産合計	3,612
固定資産	
有形固定資産	52
無形固定資産	
のれん	2,152
その他	155
無形固定資産合計	2,307
投資その他の資産	
その他	152
貸倒引当金	△1
投資その他の資産合計	150
固定資産合計	2,510
繰延資産	26
資産合計	6,149
負債の部	
流動負債	
買掛金	64
1年内償還予定の社債	150
1年内返済予定の長期借入金	545
未払金	632
未払法人税等	38
返金引当金	42
その他	219
流動負債合計	1,692
固定負債	
社債	600
長期借入金	1,258
資産除去債務	25
その他	351
固定負債合計	2,235
負債合計	3,928

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	825
資本剰余金	766
利益剰余金	1,024
自己株式	△399
株主資本合計	2,216
新株予約権	4
純資産合計	2,221
負債純資産合計	6,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	3,082
売上原価	678
売上総利益	2,404
販売費及び一般管理費	2,284
営業利益	119
営業外収益	
受取手数料	36
その他	19
営業外収益合計	55
営業外費用	
支払利息	12
支払手数料	10
支払報酬	11
その他	4
営業外費用合計	38
経常利益	137
特別利益	
助成金収入	105
その他	0
特別利益合計	105
特別損失	
新型コロナウイルス感染症関連損失	99
その他	3
特別損失合計	103
税金等調整前四半期純利益	139
法人税、住民税及び事業税	55
法人税等調整額	△8
法人税等合計	47
四半期純利益	92
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	92

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2020年4月1日
至 2020年12月31日)

四半期純利益	92
四半期包括利益	92
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	92
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りの不確実性に関する注記)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積りの不確実性に関する注記)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。